

田中重人

燈火

いつ果てるともない祈りの果てに
ついに崩折れてひざまずくとき
あなたのからだから発せられる消え入りそうなひとつの光
それはまだ小さな燈火で誰も気づく者はないけれど
ここでひとり信じるあなたの足下を照らすには十分な光

たやさぬように

つよくいきることが
あなたをさいなみくるしめるなら
よわくよわくできるだけよわく
よわくいきることはおきびのような
ちいさなころのほのおをたやさぬことだから